

## 「長引く咳、喉の痒みが早期に改善したケース」

吉田 聡子

### 【相談者】

女性 40 歳

### 【主訴】

長引く咳、喉の痒み

### 【具体的内容】

「風邪を引いて以来、咳が止まらなくなった」「喉に何か引っかかるような、ムズムズした感じの痒みがある」と知人から相談を受けた。

症状を詳しく聞くと、咳以外の風邪症状は改善しているが、「就寝中にも咳が出て目が覚める」「息が苦しくなるほど、咳が止まらなくなることがある」「ここ数か月で何度か風邪を繰り返し引いている」と話していた。

相談者は出産後に糖尿病を発症、現在も糖尿病治療のために定期的に病院に通院しながら、プロフェッショナルホメオパスによるホメオパシー治療も並行して行っている。

性格は穏やかで人に優しく、繊細なタイプ。

基本キット内の Ant-t.やDros.といった咳に効くレメディーや Carb-v.といった酸欠に対応するレメディーはすでに摂取しているが、あまり効果が感じられないということだった。

### 【レメディー選択①】

- ・ Sil.30C
- ・ Oxyg.200C

咳がひどく苦しいとき、就寝前に1粒ずつ飲むように勧めた。

### 【選択の根拠】

○Sil.30C = 『キッズ・トラウマ』第6章レパトリの「●喉の痛み」より、「喉に毛が引っ掛かっているような感じ、ムズムズして痛みがある」という特徴より選択。

『ホメオパシー in Japan』の「何度も同じ病気を繰り返し、治りにくい」という特徴も参考に選択した。

○Oxyg.200C = 『ホメオパシー的妊娠と出産』より「窒息しそうな人」「喘息発作のサポート、のどのムズムズから起こる咳のサポート」という大特徴より選択。

相談者が菓子パンなど市販の甘いお菓子が好きでよく食べるというため、「添加物・着色料・農薬の害」という大特徴も当てはまるのではないかと考えて選択した。

### 【経過】

1週間後に症状を聞くと、「喉のムズムズ感はなくなったが、まだ咳が残っている」とのことだった。咳が出る状況に大きな変化はなく、「咳が続くと、息が出来なくなるのが辛い」「明け方に咳が出て、目が覚めることがある」との症状から、喘息や気管支炎の症状に似ていると感じた。

### 【レメディー選択②】

- ・Queb.200C
- ・Phos.30C

前回と同じように、咳が続くときや就寝前に1粒ずつ飲むように薦めた。

### 【選択の根拠】

- Queb.200C = 『ホメオパシー的妊娠と出産』の内容より、「細胞の酸素不足」「喘息」「呼吸困難」という大特徴から選択。
- また、橘央子ホメオパスのeラーニング講座「妊娠と出産②」より、「喘息、百日咳、酸欠によるチアノーゼにも効果がある」という講義内容も考慮して選択した。
- Phos.30C = 『ホメオパシー in Japan』の内容より、「性格が優しく同情的」「咽頭炎、肺炎」という大特徴、「低血糖、糖尿」という特徴も参考に選択。
- また、橘央子ホメオパスのeラーニング講座「基本キット②」より、一番の特徴に「肺の弱さ（咳、結核マヤズム、喘息）」「朝や夕に悪化」と挙げられていたことも考慮して選択した。

### 【経過】

1週間後に症状を聞くと、「咳が治まって、朝まで眠れるようになった」「Phos.を摂ると、びっくりするくらい咳がピタリと止まった」と症状が改善したことを教えてくれた。

「Sil. や Phos.にこんな効果があるとは知らなかった」「授乳中で市販の咳止め薬は使いたくなかった。効き目はもちろん、安全性からも、ホメオパシーとレメディーの凄さを改めて実感した」と、本人が持っているレメディーで短期間かつ安全に対応が出来たことを喜んでいた。

### 【考察】

相談者は「基本キット」と「バースキット」を持っていたので、相談者が持っているキットの中からレメディーを選択した。

喉の痒みや長引く咳という現在の症状だけでなく、相談者の食嗜好や、治療中の病気、性格等の背景もヒントにしながらレメディーを選択、摂取をサポートすることが出来た。

結果として、早期に症状が改善し、繰り返していた風邪症状もなくなった。